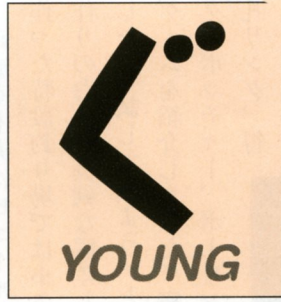
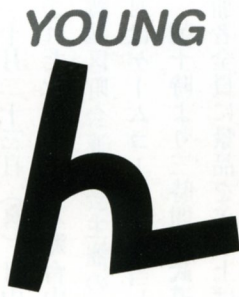


みんなのしあ



NO.59



平成18年3月31日

年2回(3月・9月)発行

編集発行

文京区青少年対策地区委員会
やんぐ編集委員会

【事務局】〒112-8555 文京区春日1-16-21

男女平等青少年課青少年係

TEL 5803-1186

FAX 5803-1345

ちくたい MAGAZINE



春の訪れを告げる汐見地区対行事 第22回千駄木マラソン大会(汐見地区対)

もくじ

9ちくたいのページ

湯島地区対 2p

向丘地区対 3p

根津地区対 5p

汐見地区対 6p

駒込地区対 8p

礒川地区対 9p

大原地区対 11p

大塚地区対 12p

音羽地区対 14p

特集のページ

特集1 地区対行事のお知らせ 15p

特集2 文の京こどもまつり・地区対ってなーに? 16p



リーダーと子どもたちの

ゆしま



TEL

「地域活性化事業」

湯島・本郷わくわくフェスティバル

石田 幸雄

十月二十三日(日) 日中は汗ばむほどの良い天気恵まれた秋空の下、本郷台中学校において、湯島・本郷地区町会連合会主催の地域活性化事業に地区対はゲームコーナーを担当しました。

朝十時より三時間、武道室でゲームを行い参加者全員に景品を差し上げました。

武道室中央にビニールシートとマットで作った特設釣り場では小さな太公望が委員手作りのお魚を真剣な眼差しで大物を狙っていました。「試してみよう」と題し新しい

ゲームを紹介しました。室内用ペタンクのポッチャー、ボーリングのような凡リング、得点を競う公式輪投げ、どのゲームも開始より大盛況で廊下に並んで順番待ちをしていただく事もありました。



「野外活動」

バスツアー 竜宮城で大はしゃぎ!

10月10日に東京電力富津火力発電所と竜宮城(ホテル三日月)にバス2台80名でアクアライン経由し、行きました。火力発電所の規模の大きさと環境に配慮した設備に感嘆。スパホテル竜宮城では温泉・プール・昼食等を充分楽しみました。行き帰りのバスの中ではリーダ達による“なぞなぞ”等のゲームを楽しみ、幼児から大人まで一緒になって大笑いしました。

バスツアー

竜宮城で大はしゃぎ!

バスでの竜宮城(ホテル三日月)へ行けるんです!

便利な車になったものです。さやかしらごんも楽しいです。

おたぎでは、毎に集っていき竜宮城です。バスで誰でも行けるんです!しかも、私たちの住んでいるところからほんの距離です。

さらに船にできるような温泉設備、そしていろいろなスパがあるんです。

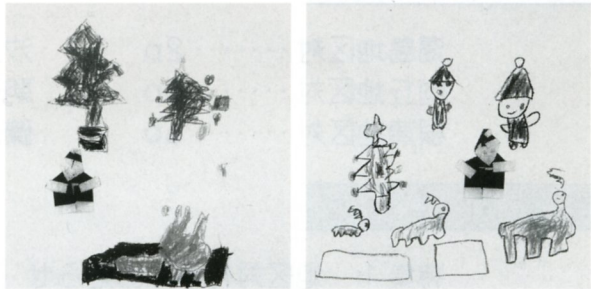
また、乙姫様がいらしたおかげで、運や、TEPCO工場からバスツアーの発着をします。

日程:平成17年10月10日(日) 雨天
 (富津火力発電所(バス1台)-竜宮城)
 参加人数:参加費9,000名まで(小学生以下は半額参加費)
 参加費:小中学生 日本酒飲み放題(朝7:45集合)
 参加費:中学生以上 9,500
 申込み:参加費を納入後参加分の人数まで申し込みください。
 定員: 乗車1-23-11-701 3813-5744
 乗車 乗車2-22-13 3813-5748
 大野 乗車3-23-18 3813-5661
 荒川 乗車1-31-11 3811-8060



サンタさんが来ました!

本郷保育園に12月16日に96名の園児がキャンドルサービス、人形劇などして待つ中、プレゼントをいっぱい持って赤い服のサンタさんが来ました。そして、こども達から質問です「どこから来たの?」、「トナカイさんは何処にいるの?」など。後日、こども達からお礼の絵がサンタさんに贈られましたのでご紹介します。



環境浄化地域懇談会

最近の乱れた社会にあって、青少年を健全に育成していくには子供が小さい内にしっかり躾ける事が大切と言われている。

河西 輝久

そこで、十歳以下の子育て中の保護者を対象に二月十八日に本郷小学校に於いて八十五名を集めて開催しました。

初めに、親子一緒に、仲間意識が持てるようにゲームで気分をほぐしました。その後、こども達は青年リーダーと時間までゲームで楽しく過ごしました。保護者はグループトークキングに移行、浅川主任





毎年恒例「ファミリースキー」

青木 住子

3月17日より19日までの二泊三日で、いつもの新潟県湯之谷の区施設山びこ荘から福島県沼尻スキー場にロケーションを移し、天候にも恵まれた三日間をもちました。

スキー教室には講師の坂本好道先生が熱血で指導され、全くのビギナーの小学3年生が三日目には一番上の上級者コースをみごとに滑走しゲレンデに戻って来ました。

「参加者の声」

一番印象に残ったのはスキー場の頂上から見た景色です。普段都会の真ん中で生活していますので、ああいった雄大な自然に触れると非常に新鮮に感じられます。

上田 純裕



スキーそしてスノーボードをしに来たのですが何よりも絶景がとても印象にあり、雪の幻想的なイメージも大きな思い出の一つです。

石川 真太郎



児童委員による基調講演の後、保護司・民生児童委員らと一緒に「どうしたら子供を健全に育てられるか」、「どういう躰をしたら良いのか」等が話題の中心になり熱心な討議がなされた。最終的な結論は出なかったが、話し合いの中からお互いに「こんな事で悩んでいるのは自分だけではない」事が認識されたもよう。また、いま最も欠けている、人と人の繋がりが持てた事が成果と思われた。



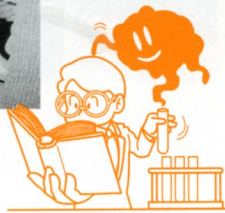
向丘地区委員会

理科実験教室

十月十五日(土)
駒本小学校

今年のテーマは「空気を測る」。空気中の酸素と二酸化炭素の割合や、息を吹き込んだビニール袋の二酸化炭素量の増加などを測定してみました。

集まった児童の、興味津々と実験に取り組む様子が印象的でしたが、参加者が少なかったことが残念に思えます。



そーっとそーっと!

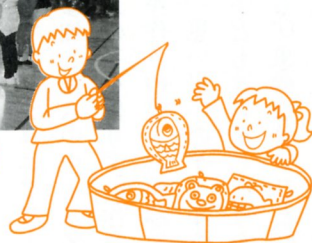
ふれあい向丘連合まつり

十月十六日(日)
駒本小学校

向丘地区に属する十二町会合同で開催されるこのお祭りも一四回目。今年は会場を駒本小学校へと移しての実施です。例年通りのゲームコーナー・模擬店の他に、ニースポーツ大会も行われ、訪れた多数の子どもや親子連れも、楽しい日曜日を過ごすことができました。



そーっれ!!!



「駒本まつり」

十月三十一日(日)

武智 弘英

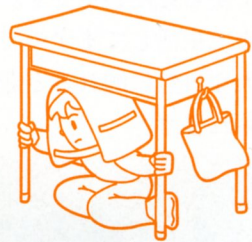
駒本小学校PTA恒例の「駒本まつり」が、午前十時から午後二時まで開催されました。バザーあり、食あり、遊びありで、延べ千人近い来場がありました。地区対では、平成十六年から、このまつりに協賛し、ペンシルバルーンで地域の子とも達と交流を深めております。当日用意した五百本のバルーンは、昼頃には無くなってしまい、お客様で大盛況でした！

楽しいヨー！



何ができるのかな？

災害の怖さを知り、クイズで防
災の知識を深めよう！
例年より開催時期を遅らせ、イ
チヨウの葉も色づく東大キャンパ
ス内を、クイズにチャレンジしな
がらの探検です。また、今年新た
な試みで、起震車の体験を行いま
した。六中の校庭をお借りし、起
震車を設置し、参加者は実際に乗
せて戴き、「震度7」の地震のゆれ
の怖さを体験しました。
日頃から、いざという時の心構
えを、身に着けて欲しいと思いま
す。



東京大学を「クイズで探検5」

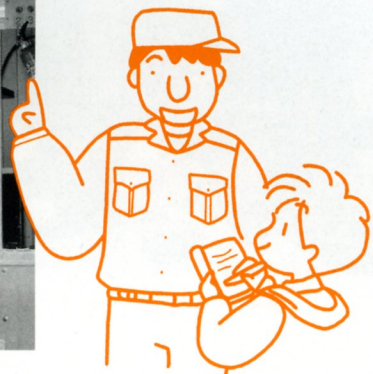
十一月二十七日(日)



わかるかなあ???



こわいよー!!!



「クリスマスケーキ作り」

十二月十一日(日)

誠之・駒本小学校

恒例となったケーキ作り。家庭
科室には、甘いおいしい匂いがた
ちこめ、寒い中集合した80名の
小学生も、ホットな気持ちでケ
ーキ作りに挑戦です。ジュニアリ
ーダーとして参加した六中生十八名
と共に、大人の手を借りずの作業
です。ケーキ作りの達人の指導を
仰ぎながら、思い思いのケーキを
完成させた子ども達の嬉しそうな
顔が、とても印象的な甘いひと時
です。



お！うまそー！

(あとがき)

今年一年間、様々な行事にお力
添えを下さったスタッフの皆様、
ありがとうございました。

根津のたより

ビーチボールバレー大会

ビーチボールバレー大会に参加して

根津小五年 室川結衣 むろかわ ゆい

私は、初めてビーチボールバレー大会に参加しました。一週間前に練習があつてから、試合に出ました。だいたいのルールがわかつたのでよかつたです。当日は、サーブとかで、点を取ることができてうれしがつたです。一勝しか出来なかつたけれど、とても楽しがつたです。

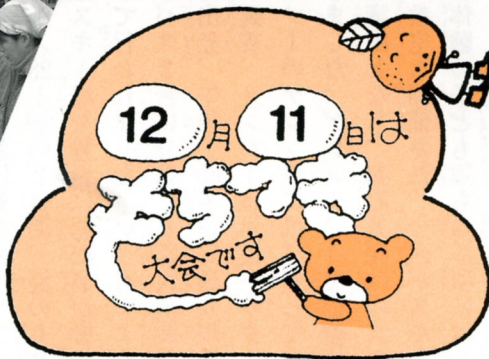
その後に、地区対の方が作つてくれた、温かくておいしい牛汁を食べました。とても大きい具がゴロゴロ入つててビックリしてしまいました。また来年も参加したいです。



おいしい牛汁作っています。



優勝したチームです。おめでとう！



楽しがつたおもちつき

根津小四年 山口陽子 やまぐち ようこ

わたしは、おもちが好きなので、今年もおもちつきがあるのを知つてゼツタイ行こうと思つた。

もちつきでは、最初にいそべもちを食べ、次におしるこ、最後にきなこもちを食べました。地区対の人が作つて下さつたおしるこが一番おいしがつたです。先生や友達にも会つていっしょに食べました。

おもちもつかせてもらいました。すごく楽しがつたです。

また来年も参加したいです。



おはようございます。みんな元気に集合！

雪あそび

「楽しかった雪あそび」

根津小五年 大坪 香菜子

私にとって今回は、三回目の雪あそびでした。一番印象に残ったのは、雪が多かったことです。バスの中から見ているのも、道路のわきから雪が落ちてくるのではないかと心配するほどでした。最初の日のソリ遊びで、友達と二人乗りをして遊びました。積もっていた雪を掘ってみると、中から硬くなった雪とは違って、降ったばかりのようなサラサラの粉雪が出てきたので不思議に思いました。バスの中ではクイズなどをして、手品を地区対の委員さんから教えてもらったりして、あつと言う間に時間がたちました。来年の雪あそびを思うと待ち遠しいです。



ヤッホー楽しんでま〜す！

恒例の汐見地区対スキーツアーは1/28、29の2日間、湯の丸高原スキー場を舞台に約85名が参加して行われました。いつものようにバス2台に分乗し日医大病院前を出発、午後1時半予定通り現地に着、メンバーは早速パウダースノーのゲレンデに飛び出してきました。ゲレンデでは実行委員が講師となり、初心者向けのスキー教室も開催され、今回がスキー初体験の子ども達も帰る頃にはリフトに乗り頂上から滑ってくる程になりました。

湯の丸高原スキー

一月二十八、二十九日

汐見らっくんじ

夕食後はラウンジで「ちびっこカラオケ大会」が行われ、子ども達の元気な歌声にメンバー一同大いに盛り上がりました。

二日間とも晴天に恵まれ風も無く、ベストのコンディションのなかメンバーはパウダースノーのゲレ



ちびっこカラオケ大会

ンデで十分スキーを楽しんでいました。また大きなケガや病気もなく全員無事にこのツアーが完了したことは皆さんのご協力のお蔭と、実行委員一同感謝申し上げます。次回も今年以上に多くの方々の参加をお待ちしております。

汐見スキーに参加して

文林中学校二年 久保重梨沙

生れて初めてのスキー教室で一日でスキーが滑れるようになって嬉しかったです。でも最初は、スキー靴を履くところから大変でした。教えてもらってやっと履いても歩くのすら大変で、やっとの思いでゲレンデ



全員集合

にたどり着きました。ゲレンデではストックの使い方から教えてもらい、なんとなく板を付けた足を動かせるようになって、平らなところを滑れるようになって、ス

ピードの調整がうまくできず、転ばないと止まれませんでした。それが二日目には、一度も転ばずに下まで滑り降りることができ、

初中級コースまで滑れるようになって本当に楽しかったです。また来年からも参加したいと思いました。スキーを教えてくださいました町会の方々、ありがとうございました。

千駄木フェスティバル

二月五日

二月五日(日)文京八中校庭で、千駄木フェスティバル in 二〇〇六が行われました。地元の文京八中・文林中の両校生徒会を中心に、中学生が子ども達を遊ばせる子ども広場で、中学生企画として当地区対の名物行事となっています。



たこ焼きは長蛇の列です

今回はストラックアウト・射的・つり・フリースローなどのゲームとタコ焼・フランク・綿あめ等の模擬店、さらにはPTAの協力によるトン汁などが振舞われました。

この日は天候にも恵まれオーブンの9時から正午のイベント終了までに約百五十名の子も達を含め二百名以上の来場者で賑わいました。



ドラエモンストラックアウト

第二十二回 千駄木マラソン大会

三月五日

3月5日の日曜日、汐見地区対による「千駄木マラソン大会」が開催されました。このマラソン大会は今年で22回目になります

が、毎年参加人数が増えており、今年も男女618名が千駄木の街を駆けぬけました。当日は朝から晴天に恵まれ、小学1・2年生男子の組からスタートして、中学生、大人の組まで

が次々に会場となった千駄木小学校を飛び出して行きました。ゴールに戻ってくる時は、真っ赤な顔でがんばっている人、つかれてつらそうな人、楽しそうに笑っている人、いろいろな顔が見られました。ゴールした後はみんな満足したようなさわやかな表情をしていました。

「来年は絶対1番になるぞ!」という声も聞かれ、すっかり汐見地区に定着した行事になったと感じられる大会でした。



表彰を受ける入賞の子どもたち

いっしょにめぐる

地域懇談会

本駒込地域センターにて

10月14日(金)午後6時より本駒込地域センターにて平成17年度地域懇談会が開催されました。井手副会長の司会に始まり、大畑会長の挨拶、出席者の自己紹介と各校(九中、駕籠町小、昭和小、駒本小の校長、副校長、生活指導主任、PTA会長)の様子をお話しして頂きました。地域センターの所長からは、この場所は地域活動のサポーターと情報提供をする所であるという事を聞きました。



駒込地区対の行事説明を大畑会長がして、次に青少年委員が青少年委員の活動について説明をしました。今の子どもを取り巻く環境問題を皆で話し合いながら、なごやかに八時半に終了しました。駕籠町小は情報モラルの指定校になっています。

雪あそび

《一言コメント》

▲ 久し振りに家族4人で遠出できました。まだまだスキーを満喫するほどではないので今回の雪あそびはとても楽しいものでした。地域の方々とも初めてお話しができて、今後のご近所付き合いも円滑に進められればと思います。



1泊2日でしたがすごく楽しかったです。

なすかしの森で

3月4日(土)・5日(日)
かまくら・山スキー・そり

▲ 東京の大雪山以来の雪あそび、親子共々大満足でした。初めてのかまくら作りもついつい気合が入ってしまいいつこともはしゃいで大喜びでした。二段ベット、ナイトハイク、かまくらコンテストと初体験

▲ ほくは、そりをしてそりがジェットコースター並に早かったのでビックリしました。次にジャンプ台とんでみたけど、なかなかうまく着地できなかった。今度はずまく、着地したい。



▲ そりが楽しくて目に雪が入りました。耳にも入りました。食事もおいしかったです。一面の雪げしきで



▲ スキーがおもしろかったです。久しぶりな遊びにやりました。とても楽しかったです。一泊は友達とずっとお話しをしていて、とてもいいプチ卒業旅行になりました。



▲ スキーがおもしろかったです。久しぶりな遊びにやりました。とても楽しかったです。一泊は友達とずっとお話しをしていて、とてもいいプチ卒業旅行になりました。



短い間でしたがとても楽しい時間をすごせました。ハイポーズ



クッキー教室

お花ボーロ
作り

二月四日(土) 九中家庭科室において、クッキー教室を開催しました。講師に安岡郁香先生を迎えてのクッキー教室です。

片栗粉と黄卵と砂糖が絶妙にマッチしておいしいボーロが出来ました。生地がバサついていましたが、子どもたちは、自分の思いどおりの形を作り楽しみました。

今回も、九中生十六人がボランティアスタッフとして、子どもたちの世話をしてくれました。(感謝)

《一言コメント》

☆小さな子どもでも楽しめるクッキーだったのでよかったです。

☆久々に娘とお菓子作りをして楽しかったです。なつかしい味がしました。



☆まさにボーロの味で美味しかった。ココア生地は固まらず大変でした。☆普段は、部活や勉

強などでとても忙しく、クッキーを作る機会なんてなかったの

で、こうして地域の人と触れ合うことができ、本当によかった。

☆パサパサして大変だったけど楽しかった。

☆私も初めてボーロクッキーを作った、はじめは入れ方を間違えて、大変だったけど、おいしそうなお花ボーロクッキーができてよかったです。

☆はじめてだからドキドキしました。楽しかった。

☆娘たちがとても楽しそうでませたり、こねたり、粘土細工のようでした。トッピングもかけたい放題でした。また参加したいです。

☆形が思いどおりにできなくて、残念でした。

☆形をつくるのが楽しかったです。完成したときがうれしかったです。



環境浄化推進事業

今年(かんぱつ)は、間伐材(かんぱつ)を使って建てた家に行き「森林の大切さを学ぶ」とにした。この家が長瀬近くの美の山公園別荘地であつたので、長瀬の石畳を見学、県立自然史博物館、美の山登山、間伐材で建てた家の見学と勉強会というコースとした。当日はあいにくの雨模様であつたので、会場設営のため先発隊として車二台がバスより先に出発する。登山や昼食のバーベキューは、雨の具合により TENT を張ったり、登山の中止も考えなくてはならない。朝 7 時 30 分文京区役所裏を 33 名の参加者と 6 名のスタッフを乗せバスは出発する。渋滞もなく順調にバスは進み 10 時に長瀬に着く。カヌーの川下りを見ながら岩畳を逆行し県立自然史博物館に行く。ここで係員の説明を聞きながら約一時間見学をする。この間先発組と連絡を取り、登山は取りやめにする。美の山公園駐車場を降り小雨のなか村道を遠回りして 20 分程ある。間伐材を使って何年もかけてご自

れきせん地区 委員会

身で造られたこの家は良くできています。昼食を食べ始めるころにはドシャ降りとなつたので、参加者は部屋に入ってもらった。それでも皆楽しそうに焼きそばに舌鼓を打つ。食べ終わった人から家の中を見学し食事の後片付けをし勉強会の会場をつくる。家を提供してくれた片岡さんが、大きな模造紙に紙芝居風に書かれた絵を見ながらの説明に入る。子供たちは真剣な眼差しで片岡さんと話のやり取りをして、あいにくの雨であつたが大変な霧囲気の勉強会となる。



判りやすく話してくれました。

小雨となったところで村道を下ってバスの待つ車道まで歩く。途中道端に咲く花や果実そして小鳥の鳴き声を聞き、大人と子供が会話を楽しみながらの時間は悪路の登山道を行くより遥かに有意義であったと思う。今回は事前準備から当日の段取りまで大変お世話いただいた片岡さんご夫妻に感謝いたします。ありがとうございます。

(環境浄化推進事業担当

尾形秀雄)

礪川マラソン

秋の地区対恒例行事の「礪川マラソン」に参加しました。11月27日(日)は前日まで好天気が続く、気温も15度を超えました。昨年に続いて小学生3キロ女子の部の伴走に出場し、いっしょに走る子からパワーをもらって22分かけて完走しました。さらに、今年は念願の柳町小学校の職員チームで駅伝に出場することができました。一人で走るのも楽しいですが、一つのたすきを最後までつないで走る駅伝はひと味違います。一人3キロを5人でつなぐのがこの礪川マラソンの駅伝です。私たち柳町小学校チームの第一走者は、今年、

教員になったF先生。学生時代はサッカー部に所属していたスポーツマンです。第2走者のK先生は心障学級に勤めている女性の講師です。額にいっぱい汗をかいての力走……。第3走者は、講師をしながら休日はラグビーを楽しんでいるY先生。何人もの走者を抜いてのたすき渡しでした。運動はあまり好きではないと言っていた第4走者のS先生は、このレースのために何度もコースを試走したそうです。そして、わがままを言うて最終走者になった私。総合タイムは1時間14分45秒。順位よりもたくさんの子どもたちや保護者のみなさんの応援の中を5人でたすきをつないで走ることのできたことに喜びを感じました。今年のタイムを更新することをめざして、平成18年もぜひチームとして駅伝に参加したいです。

(柳町小学校 矢口英明)



元気に選手宣誓!!

ふれあいクッキング広場

17年度締めくくりの事業「ふれあいクッキング広場」が2月19日(日)に、茗台中学校の家庭実習室をお借りして行われました。今回は小石川そばの会の皆さんに二度目の登場を頂いての「そば打ち体験」です。4歳から70歳まで50名の参加がありました。そば打ちの後にはデザートのもちもちクレープにも挑戦、用意された具の中から好きなものを入れて食べてもらいました。



気になる参加者の声は：
 ◎本職の方に教えていただけるとは思わず手際の良さや手さばき等感心しっぱなしでした。子供にも作り易い粉の配分ということでしたが充分おいしかったです。
 ◎初めての体験でしたが、中々おいしいそばを食することができました。趣味にしたいくらいです。



次は子供たちの声：

◎クレープ、そばを作れたのがよかった。クレープは生地や生クリームを最初から作るのがむずかかった。そばは切るのがむずかかった。(今度食べにいきます)
 ◎楽しかったです。次はギョーザを作りたいです。ケーキも。
 ◎最後のそば湯を飲んでおいしかったです。自分で作ったクレープがおいしかったです。次に作ってみたいのはクッキーです。
 ◎自分で作ってすぐに食べたのが楽しかった。そば湯を初めて飲んでおいしかったです。今度はドーナツを作ってみたいです。
 ◎そばは上手にできたけど少しかたかったです。クレープは見た目はおいしそうにできたけどぐにゃぐにゃになってしまいました。たくさんさんの感想をありがとうございました。次回はまた料理になるかわかりませんが、楽しみに待っていて下さいね。



大原地区委員会



防災宿泊キャンプ

八月二十日(土)～二十一日(日)明化小学校に於いて「災害時の避難生活体験し、防災に対する認識を高める」を目的として、児童及びその保護者を対象に行いました。午後三時の開会式で始まり、起震車、煙ハウス、消火訓練、救命訓練、消防団による散水には、子どもたちはびしょびしょになりながら大喜びでした。そして、炊き出し訓練、アルファ米などの限られた中での食事、一つ一つの体験が有意義なものでした。

天候に恵まれ、三十二家族八十二名、スタッフ約三十名、校長、副校長先生にも参加をいただき、午前八時終了しました。「備えあれば、憂いなし」と、いうところでしょうか。



明化小学校PTAスタッフの皆さんに感想を聞きました。

会長 茂木 宣夫

本来ならば、電気、水道、ガスの供給がストップし、人数も膨れ上がり、季節によっては暑く、寒くなど色々考えると心底恐怖というものを感じました。が、参加して初めて真剣に考えさせられた貴重な体験でした。

田中 紀恵

日頃から防災に関心はあるものの、ついつい後回しにしていた我が家。しかし、今回起震車による震度七の揺れ、煙ハウスでの視界の悪さ、真夏の体育館の蒸し暑さを体験し、明日は我が身という思いで備える必要性を感じました。地区対の方による防災訓練、炊き出しは、心強い限り。二日間ありがとうございました。

三村 啓子

近い将来、大地震がおこる可能性が高いといわれる中、貴重な体験ができました。煙ハウスは、実際の火災だったらと思うと、とても恐ろしいです。子どもたちは、きもだめしや、友達と一緒にの宿泊を楽しんでいましたが、本当に被災した場合、食事や衣食住スペースは、あれほどの余裕はなく、怪我をしていたり、ライフラインがストップしたりと、もつと大変な状況の中で互いに協力しあうことが、不可欠だと思いました。

早川 真理子

私は、起震車を体験したいと思い、四年生の娘は、お友達と体育館に泊まるというので、喜んで参加しました。起震車での震度七は、テーブルの足にしがみついているのがやっとでした。実際の地震では、物が降ってくるでしょうから、自分の身を守ることにしか出られません。体育館での一夜は、暑く、敷布団代わりの寝袋だけでは硬くて良く眠れませんでした。学校が避難所になることのないよう、ただ祈るばかりです。

一瀬 悦子

初めての親子防災キャンプに参加しました。消防団による起震車や煙ハウスを体験し、地震・火災の恐ろしさを再認識しました。冷房のない体育館での一泊は大変でしたが、被災したらそんなことは言っていられません。親子共々、貴重な体験をさせて頂いた二日間でした。

大原スポーツ祭り

十月十日、明化小学校に於いて行われました。小雨のため体育館での開会式となりました。そのため、競技内容も少し変更になりましたが、最後の競技であった綱引きは、校庭に行われ、大盛況で終わることができました。参加者二百八十二名、ボランティアグループ若葉組三十二名、地区対スタッフ六十三名でした。



二人三脚のままフラループをくぐる

実行委員長 安田 真也

「地域が創る運動会、スタッフも地域の一員として競技に参加します」これが大原スポーツ祭りの基本ポリシーです。

中高生によるボランテイアグループの若葉組が準備に走り回ります。地区対のスタッフも進行を確認しながら競技に参加します。一般参加の人も準備を手伝います。地域の人たちが自ら協力して創る運動会として4回目の開催で、運動会という競技が目的でなく、皆で創る「スポーツのお祭り」です。毎年雨にたたられますが、参加人数は増えてきました。今年も体育の日に開催する予定ですので、お祭りが大好きな人、ぜひ参加してください。



お父さんも頑張るぞ!!

ふくらまないよ!



ソーレ!ソーレ!



なかなか前に進まないよー!



指導者研修会

二月七日、東京の安全を守る警視庁の様々な活動を知り、警察業務に対する理解を深めるため、警視庁本部の見学を企画しました。四十四名の参加者と共に、通信指令センターなど、個人では見ることの出来ない東京の安全を守る中枢機関の見学をしてきました。

秋の風にふかれて

水辺ライン



平成十七年十月三十日(日)家庭の日の行事として「東京水辺ラインめぐり PART7」を行いました。当日は多少肌寒い天気でしたが、多くの家族が元気に集まりました。大塚駅前集合し、都電で荒川遊園へ。そこから遊覧船で葛西臨海公園まで、隅田川や東京湾の水辺の環境を観ながら親子で楽しく一日を過ごしました。隅田川では川岸の景色や川に架かる橋の説明を受け、とても勉強になったようです。途中でもめも飛んできて、子供たちは用意された食パンを与え大変喜んでいました。東京湾に出るからは、まずレインボープブリッジの下を通過しました。ほとんどの家族が遊覧船の屋上に集まり、その大きさを実感していました。その後はお台場の周辺を遊覧し、葛西臨海公園へ向かいました。



【参加者の感想】

★船から、とんでいるカモメに食パンをなげたらナイスキャッチしたので楽しかったです!

小学校二年

★少し肌寒かったですですが、船から見る景色は、新鮮でした。のんびりと時間が流れ、いつもと違う休日で良かったです。スタッフの皆さん、ありがとうございました。

保護者

大塚地区委員会

来年も みんなでやろう 山スキー

来年も みんなでみたい このけしきを

みんなだね 楽しくできた スノーボード

スノーボード お前に負ける きがしない

ころんだが とても楽しい スノーボードは

スノーボード むずかしいけど たのしかった



スイスイと 滑走したいが ヘタツピだ

夕焼けが 白銀に光り 空照らす

銀色の 吸い込まれそうな 雪景色

寒かった リフトの上は 寒かった

寒いのは 嫌いだけれど 雪はいい

きれいだな 長野からみた 雪げしき

中学生 スキー・スノーボード

2006年3月4・5日
於：須坂青年の家



文京区青少年対策大塚地区委員会



うまかった みんなで食べた 夜食かな

二日目に 寝不足たたって 怪我をする

晴天だ 僕らがくると 晴天だ

スキー スノーボード 楽しいなあ

楽しいな スノーボードに 初挑戦!!

ああ寒い 想像よりも ああ寒い



白い雪 空はまっ青 気持ちいな

やっぱりだ たかしの才能

開花せず

オレにはね スノボの才能

ありまくり



平成十七年十一月十三日

九地区合同の行事「文の京こどもまつり」が開催されました。当日は天気がとてもよく、会場周辺の文京スポーツセンターと教育の森公園は、たくさんの人たちでいっぱいになりました。

文の京こどもまつり

～あいさつは 心をつなぐ キーワード～



スタンプラリー

走れ!!

会場内には「あいさつおじさん・あいさつおばさん」たちがいさつをするとスタンプがもらえます。全部集めると出てくる秘密のキーワードが分かった人は、ステキな景品と交換しました。町なかでも知っている人に会ったら、元気よくあいさつしようね!

各コーナーの紹介

- ストラックアウト (礪波地区)
- 食品トレイ飛行機 (大原地区)
- ペーパーブーメラン・ビーズアート (大塚地区)
- 防災釜で収穫祭 (音羽地区)
- ○○○喰い競争 (湯島地区)
- ペンシルバルーン (向丘地区)
- ポップコーン (根津地区)
- 昔あそびコーナー (汐見地区)
- 虫取りホイホイ (駒込地区)
- あいさつ・声かけ・きっかけづくりスタンプラリー (全地区)
- フワフワトランポリン
- いちにちどうぶつむら
- フリーマーケット

たくさんの動物に
出会えたよ!



こ...、こんにちわ

ちくたい 「地区対」ってな～に???

Q. どんない団体?

A. 正しくは、「文京区青少年対策地区委員会」といいます。地域の子供たちが、すくすくと健やかに育ってくれることを願って活動するボランティア団体です。文京区には9つの地区委員会があります。



Q. どんない人たちがやってるの?

A. 地域の町会員、区立小中PTA、保護司、青少年委員、民生児童委員、体育指導委員などが主なメンバーです。文京区長の委嘱を受けています。

Q. どんない活動をしているの?

A. ◆スポーツ大会・マラソン大会・ゲーム大会・おまつり
◆料理教室・スキー教室・交通安全教室・バスハイク
◆地域清掃・研修会 など
各地区対の特色を活かし、地域と密に連携し活動しています。



★みんなあそびにきてね!